

第39回 中国・四国地区聾教育研究大会（高知大会）開催要項（最終案内）

- 1 大会主題 「豊かな心と自ら学ぶ意欲をはぐくみ、主体的に生きる子どもを育てる」
～豊かなコミュニケーション活動を基盤とした学習指導の工夫～

【設定理由】

平成19年度から始まった特別支援教育の理念のもと、聾学校等においてはこれまで培ってきた指導の実績を踏まえ、聴覚に障害のある子どもたちが自らの力や、可能性を最大限に伸ばし、自立し、社会参加するための力を身に付けることを目標とした教育実践や、一人ひとりのニーズに合わせた支援の方法の研究が進められている。

新学習指導要領では、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康と体力」などをバランスよく育て、「生きる力」をより一層はぐくむことが明記されている。その中でも、基礎的・基本的な知識・技能の習得をもってする「確かな学力」の育成は、準ずる教育を行う聴覚障害教育においても同様に重視する必要がある。

近年、子どもたちを取り巻く社会は、情報化・国際化・価値観の多様化が進み、産業や生活の場面において大きな変化が見られる。変化の激しいこれからの社会を生き抜くための「生きる力」の育成は、大きな課題となっている。

聴覚に障害のある子どもたちが、自立し社会参加していくために必要な「生きる力」とは何か、また、「生きる力」をはぐくむために私たちは聴覚障害教育の専門性をどのように高め、個々のニーズに応じた支援はどのようにすれば効果的なのか、という課題解決の糸口を見つけるべく、この大会主題を設定した。

- 2 主催 四国地区聾教育研究会・中国地区ろう教育研究会
- 3 日時 平成28年11月10日（木）・11日（金）
- 4 会場 高知県立高知ろう学校
- 5 後援 高知県教育委員会・高知市教育委員会・高知県特別支援学校長会

6 日程

【第1日目 11月10日（木）】

9:00	9:35	11:30	12:30	13:00	15:00	15:15	16:30
受付	公開授業・指定授業 寄宿舍公開	昼食	開会行事	記念講演	移動	授業研究会	

※ 16時40分よりPCの動作チェックを行います。

※ 17時より分科会の打ち合わせ、18時30分より懇親会を行います。

【第2日目 11月11日（金）】

8:30	9:00	11:30	11:40	12:00
受付	分科会	移動	閉会行事	

7 内 容

(1) 公開授業 1校時9：35～10：25

幼稚部 (9：40～10：20)

学 級	活 動 名	指 導 者	場 所
3歳児 さくら1組	カレンダーワーク (非公開)	森下 妙	さくら1
3歳児 さくら2組	カレンダーワーク (非公開)	矢野 聖子	さくら2
5歳児 ひまわり組	どうぶつあそび	坂本 佳代	ひまわり

小学部 (9：40～10：25)

学 級	教科・領域	単 元 名	指 導 者	場 所
小 2	生活単元学習	ポテトサラダをつくろう	戎井 有里子	小2教室
小4A	生活単元学習	ゲームをしよう	柏原 智子	集会室
小4B	算数	広さを調べよう	三谷 祐人	小4B教室

中学部 (9：35～10：25)

学 級	教科・領域	単 元 名	指 導 者	場 所
中 1	英語	Unit7 ブラジルから 来たサッカーコーチ	小松 文	中1教室
中2a	国語	なりきり作文	野中 理佳	学習室(中)2
中2b	数学	お金の計算	石田 翔子	中2教室
中 3	保健	生活習慣病とその予防	野村 龍志	中3教室

高等部 (9：35～10：25)

学 級	教科・領域	単 元 名	指 導 者	場 所
高 1	コミュニケーション 英語基礎	Lesson5「Soccer Balls to Afghanistan 国際支援」	小野山 玲佳	高1教室
高 1	保健	喫煙と健康	苅谷 亜結	学習室(高)3
高 2	地学基礎	2章 地震	横山 拓	学習室(高)5

高 2	化学基礎	酸と塩基	井上 真由子	高2 A教室
高2 II型	美術	木のお皿	丸岡 敬子	美術室
高2 II型	数学	表とグラフ	尾崎 道恵	高2 B教室
高 3	エレメント	第4 収納家具	島村 裕人	高3教室
専 1	製図	直線の等分分割	中谷 由佳	製図室

(2) 指定授業 2校時10:40~11:30

幼稚部 (10:40~11:20)

学 級	活 動 名	指 導 者	場 所
3歳児	どうぶつあそび	森下 妙 矢野 聖子	さくら

小学部 (10:40~11:25)

学 級	教科・領域	単 元 名	指 導 者	場 所
小4 B	国 語	感想を伝え合おう「ごんぎつね」	原 さおり	小4 B教室

中学部 (10:40~11:30)

学 級	教科・領域	単 元 名	指 導 者	場 所
中 3	理 科	第3章 エネルギーと仕事	山本 厚美	中3教室

高等部 (10:40~11:30)

学 級	教科・領域	単 元 名	指 導 者	場 所
高 2	現代文B	山月記	高橋 恵子	高2 A教室

(3) 寄宿舍公開 (10:00 ~ 11:30)

寄宿舍内見学	寄宿舍指導員が 随時、案内する	寄宿舍棟
--------	--------------------	------

(4) 記念講演

講師 松本 末男 氏
筑波大学 附属学校教育局 教育長補佐・教授
演題 「 聴覚障害教育へのねがい 」

(5) 授業研究会

分科会		助言者	会場
第1分科会	幼稚部	高知県教育センター特別支援教育担当 チーフ 山中 智子 氏	遊戯室
第2分科会	小学部	筑波大学附属聴覚特別支援学校 非常勤講師 江口 朋子 氏	視聴覚室
第3分科会	中学部	愛媛大学教育学部 准教授 加藤 哲則 氏	図書室
第4分科会	高等部	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 上席総括研究員 インクルーシブ教育システム推進 センター長 原田 公人 氏	大会議室
第5分科会	寄宿舍	高知県立高知ろう学校 元教諭 千股 定美 氏	食堂

(6) 分科会

第1分科会 早期教育	テーマ	「生き生きと表現し、自分からかかわり、伝え合う力をはぐくむための授業づくりについて」
	設定理由	乳幼児期は、保有する聴覚や多様なコミュニケーション手段を効果的に活用し、自分がしたいことに集中して取り組み、いろいろな活動を楽しむことで、言葉の習得や考える力を培うことが大切である。そこで、本分科会では、いろいろな環境に自分からかかわることで、伝わることや分かることを実感し、生き生きと表現し、自分からかかわりたいという意欲をもち、伝え合う力を育てるための授業のあり方について研究する。
	助言者	高知県教育センター特別支援教育担当チーフ 山中 智子 氏
	司会担当	香川県立聾学校 福家 雅美
	記録担当	徳島県立徳島聴覚支援学校 樽 侑 加 高知県立高知ろう学校 高橋 菜津子
発表担当	伝わる、分かる気持ちをはぐくむ取組 ～幼稚部教育につながった事例を通して～ 高知県立高知ろう学校 安藤 久子 話し合い活動における保育の工夫について	

		岡山県立岡山聾学校 浅野 浩美 幼児が主体的に活動するための環境設定や教師の支援の工夫 ～合同保育・自由遊びを中心に～ 愛媛県立松山聾学校 一色 治恵
	運営担当	高知県立高知ろう学校 松下 幹
第2分科会 小学部教育	テーマ	「自分の思いや考えをもち、生き生きと表現し、伝え合うための力を育てる授業づくりについて」
	設定理由	近年、少人数化と共に多様な学び方が必要な子どもたちが増加傾向にある。そのため、聴覚障害の学習上の特性を踏まえた指導と共に、児童一人一人に合わせた指導を行うことがより重要である。児童の「できる」ことに着目した実態把握に基づき、児童の良さを引き出した指導を行うことで、児童が、自分の良さに気づき、自分の思いや考えをもてることが、学ぶ意欲につながると考える。そこで、本分科会では、豊かな言葉の環境のなかで、自分の思いや考えをもち、生き生きと表現し、伝え合うための力を育てる授業のあり方について研究する。
	助言者	筑波大学附属聴覚特別支援学校 非常勤講師 江口 朋子 氏
	司会担当	愛媛県立宇和特別支援学校 藤谷 朋宏
	記録担当	愛媛県立松山聾学校 汐入 郁美 高知県立高知ろう学校 坂本 綾子
	発表担当	言語活動の充実を図り、豊かな心をはぐくむ取組 ～個に応じ、伝え合う力を育てる授業づくり～ 高知県立高知ろう学校 原 さおり 戎井 有里子 聴覚障害のある児童の思考力を育てる授業づくりについて ～思考プロセスを踏まえた算数科指導を通して～ 広島県立広島南特別支援学校 井上 奈穂子 伝え合う力を育てるために ～書記表現力の課題の整理と伝える力の伸長～ 広島県立尾道特別支援学校 聴覚障害部門 井桁 陽介
	運営担当	高知県立高知ろう学校 柏原 智子
第3分科会 中学部教育	テーマ	「自ら学び、考え、判断する力を高め、自他の良さを認識し、主体的に生きる力を育てる授業づくりについて」
	設定理由	近年、少人数化と共に多様な学び方が必要な子どもたちが増加傾向にある。そのため、聴覚障害の学習上の特性を踏まえた指導と共に、生徒一人一人に合わせた指導を行うことがより重要となる。生徒の「できる」ことに着目した実態把握に基づき、個々の生徒の良さを引き出した指導を行うことで、自分や友達の良さを認識し、自信をもって自己を表現することが、目的意識をもった行動につながると考える。そこで、本分科会では、聴覚に障害のある生徒がたくましく豊かに生きていくために自ら学び、考え、判断する力を高め、自他の良さを認識し、主体的に生きる力を育てるための授業のあり方について研究する。
	助言者	愛媛大学教育学部 准教授 加藤 哲則 氏

	司会担当	愛媛県立松山聾学校 坂根 洋一
	記録担当	徳島県立徳島聴覚支援学校 杉本 和美 高知県立高知ろう学校 野中 理佳
	発表担当	生徒の認知特性に応じた授業の工夫 ～実態把握に基づく授業づくり、思考・表現力を高める方法の創造～ 鳥取県立鳥取聾学校 義仲 潤一 自分の考えを適切に伝える力、 他者の考えを読み取る力を伸ばすための実践 香川県立聾学校 橋塚 竜郎 学ぶ意欲を高め、主体的に思考する力をはぐくむ取組 ～思考につながる発問を目指した授業づくり～ 高知県立高知ろう学校 山本 厚美
	運営担当	高知県立高知ろう学校 石田 翔子
第4分科会 高等部教育	テーマ	「意欲的に学び、判断する力を高め、自他を認め合い、自分らしく生きる力を育てる授業づくりについて」
	設定理由	近年、少人数化と共に多様な学び方が必要な子どもたちが増加傾向にある。そのため、聴覚障害の学習上の特性を踏まえた指導と共に、生徒一人一人に合わせた指導を行うことがより重要となる。生徒の長所に着眼した実態把握に基づき、個々の生徒の可能性を引き出した指導を行うことで、他者の考えを受容し、自分の考えを表現できる力を習得することは、社会の中で自分らしく生きる力につながると考える。そこで、本分科会では周囲の情報を主体的に獲得し、活用する力を身に付け、意欲的に学び、判断する力を高め、自他を認め合い、自分らしく生きる力を育てるための授業のあり方について研究する。
	助言者	独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 上席総括研究員 インクルーシブ教育システム推進センター長 原田 公人 氏
	司会担当	高知県立高知ろう学校 沖 真希
	記録担当	高知県立高知ろう学校 濱田 洋二 高知県立高知ろう学校 三浦 怜士
	発表担当	もっている力を伸ばし「生きる力」につなげることを目標とした取組 ～振り返りツールを効果的に活用する授業づくり～ 高知県立高知ろう学校 小野山 玲佳 横山 拓 交流活動を通じた取組 ～豊かな人間性を育むために～ 愛媛県立宇和特別支援学校 聴覚障がい部門 藤枝 順子 言語活動の充実をめざした授業づくり ～言葉豊かに表現する力を育む取組～ 島根県立松江ろう学校 長谷 美奈子
	運営担当	高知県立高知ろう学校 小野山 玲佳
第5分科会 寄宿舎教育	テーマ	「主体的に生きぬく力を育てる寄宿舎教育について」
	設定理由	寄宿舎では、基本的な生活習慣や集団生活の中でのルールを身に付けさせることや自治会活動を通して協調性や自主性を育て、自己の役割に気付

		かせ、社会に適応していくための力を育てることを目的とした取組が大切である。 そこで、本分科会では、子どもたちの卒業後を見据え、主体的に社会で生き抜く力を育てるための寄宿舎教育のあり方について研究する。
助言者	高知県立高知ろう学校	元教諭 千股 定美 氏
司会担当	高知県立高知ろう学校	島村 裕人
記録担当	香川県立聾学校 高知県立高知ろう学校	眞鍋 真由美 西川 瑞輝
発表担当	<p>豊かな心を育てる取り組み</p> <p>～余暇活動の充実を通して～</p> <p>徳島県立徳島聴覚支援学校 大柿 美和</p> <p>寄宿舎生活から見るろう教育について</p> <p>山口県立山口南総合支援学校 嶋村 勉</p> <p>自立・社会参加に向けた取組</p> <p>～体験を通して主体的に生きる力をつける～</p> <p>高知県立高知ろう学校 秋元 良輔</p>	
運営担当	高知県立高知ろう学校	細川 順子

8 開会式次第

- | | | |
|--------------|---|-------|
| (1) 開式の言葉 | 大会副実行委員長（高知県立高知ろう学校教頭） | 福井 徹 |
| (2) 大会会長あいさつ | 大会会長（四国地区聾教育研究会会長
高知県立高知ろう学校長） | 浅野 弘巳 |
| (3) 祝辞 | 高知県教育委員会特別支援教育課長 | 橋本 典子 |
| (4) 来賓紹介 | 大会副会長（四国地区聾教育研究会副会長
愛媛県立宇和特別支援学校（聴覚障がい部門）長 | 丹下 徳子 |
| (5) 閉式の言葉 | 大会副実行委員長（高知県立高知ろう学校教頭） | 福井 徹 |

9 閉会式次第

- | | | |
|-----------------|--------------------------------|-------|
| (1) 開式の言葉 | 大会副実行委員長（高知県立高知ろう学校教頭） | 福井 徹 |
| (2) 実行委員長あいさつ | 大会実行委員長
（主管校校長 高知県立高知ろう学校長） | 浅野 弘巳 |
| (3) 次期開催校校長あいさつ | 次期開催校校長
（山口県立山口南総合支援学校長） | 田代 雅昭 |
| (4) 閉式の言葉 | 大会副実行委員長（高知県立高知ろう学校教頭） | 福井 徹 |

10 参加費等

会員 2, 500円 非会員 3, 500円 記念講演のみ 1, 000円
 研究集録・事後集録代 1, 200円
 学生の参加費 1, 300円

11 展示

大会期間中、四国地区聾学校巡回美術展を開催しています。四国地区の聾学校の幼児児童生徒の作品を展示しておりますのでご覧ください。

12 大会事務局及び連絡先

第39回中国・四国地区聾教育研究大会（高知大会）事務局

〒780-0972 高知市中万々78（高知県立高知ろう学校内）

TEL 088-823-1640 FAX 088-823-1752

E-mail ayumi_horino@kt3.kochinet.ed.jp

大会ホームページ <http://www.kochinet.ed.jp/ro-s/tyuusiroh/top.html>

大会実行委員長 校長 浅野 弘巳

大会事務局長 教諭 堀野 あゆみ